

水上市幸希選手

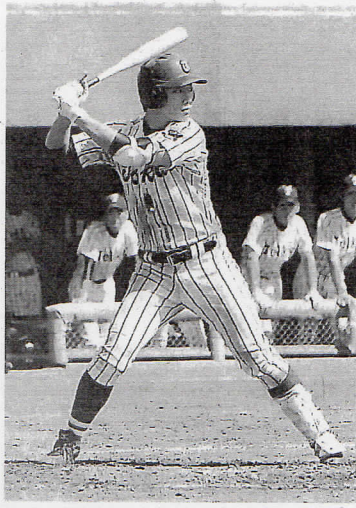


甲府市の山日YBS球場は、僅差で競り勝ち粘り強さを持つ甲府商と、投手力に加えて打撃でも調

合はこれまで全試合を二下で勝ち上がったが、この試合は二下で勝ち上がった甲府と、県内随一と評される高い守備力を誇る甲府工が激突する。25日から千葉県で始まる関東大会への出場権をかけた準決勝を前に、各試合の見どころを展望する。

【藤瀬志保】

東海大甲府・松岡隼祐選手



の3試合を山本恭輔(2年)が先発し、後半に清水晟大(同)が継投して乗り切ってきた。失点しても、チーム打率は3割6分4厘で、打線の援護が期待できる。豪快なスイングで長打を誇る水上幸希(同)ら上位打線の活躍がカギとなる。また、11犠打を決めてきた堅実な攻めも、随所で見られそうだ。

第2試合は、上位から下位まで続く強力打線でも他を圧倒する東海大甲府に対して、4チームの中で唯一失策0の強い守備力を武器に

# 強力打線東海大甲府

## 第2試合

### 堅守が武器の甲府工

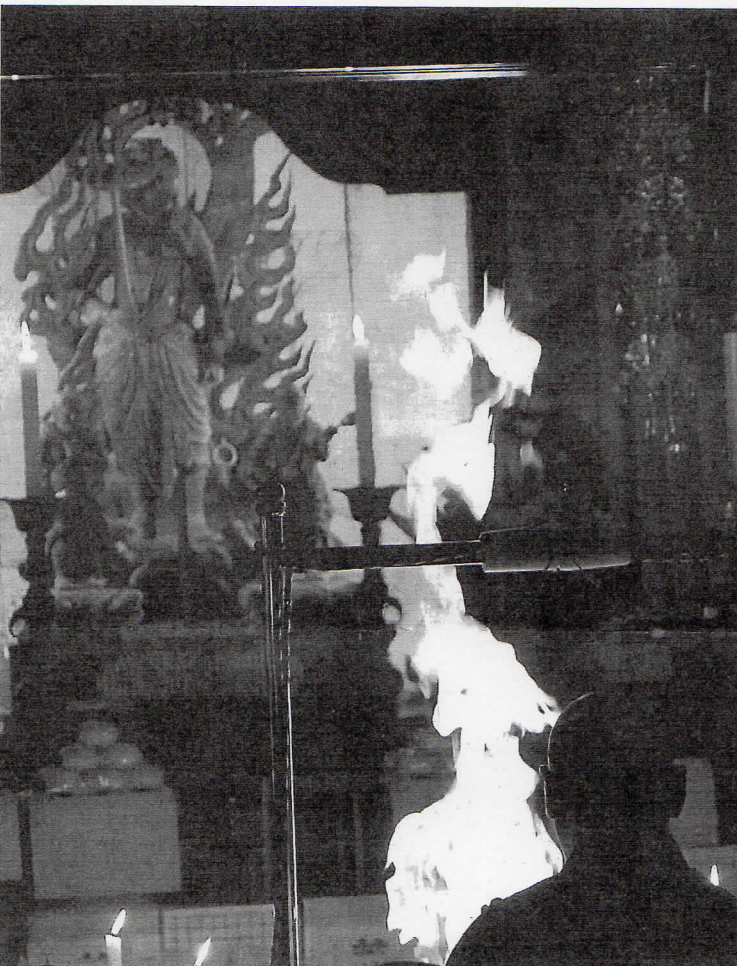
11打数9安打で勢いに乗る。今夏の甲子園に出場した五十嵐蒼王将(2年)もチーム一の8打点でけん引する。継投策で臨む投手陣は、球威のある菊地大輝、制球力が持ち味の大岡稜、松葉行人ら1年生の成長が著しい。  
甲府工は、石合不二夫監督の目指す「1死ではなく併殺を狙う、一つ上のプレー」を実践し好守を見せる。主将の佐野快斗(2年)を中心とした内野手の堅実な守備が光る。課題は打撃だが、練習で強化を図る。点差が開く前に、小俣賢太(同)

富士山世界遺産登録記念

10/4 毎日新聞

## 平穏願い特別祈とう

忍野・東円寺 大阿闍梨の上原行照師



鈴原不動尊に特別祈とうする大阿闍梨の上原行照師 (手前)  
—忍野村忍草の東円寺で

御嶽山噴火

# 「二度とこんな思い…」

## 犠牲者の母、目を腫らす

長野県と岐阜県境の御嶽山(3067m)の噴火で亡くなった甲斐市玉川の会社員、猪・哲也さん(45)。県内に在住する洋海さんの御母(69)が3日、毎日

新聞の取材に応じ、長女夫婦への思いを語った。  
実母によると、猪岡さん夫妻は26日夜に山梨を出発。週末のうちには自宅に戻る予定だったが、登山に行っていた。登山には「噴火の取材に」と知らず、「噴火の報道を見て(行方不明者か)『可哀そう』としか思っていなかった」。一報は家族からの電話。ショックでも聞けず、食事も喉を通らなかった。

富士山世界文化遺産登録を記念した忍野村忍草の東円寺護摩供法要「不二の祈り」が3日、同寺であり、比叡

山で1000日の荒行(千日回峰行)を成し遂げた大阿闍梨の上原行照師が特別祈とうした。

寺にまつられている「鈴原不動尊」は、1合目の鈴原社で大日如来とともに廃仏毀釈があった明治以前に

富士講道者や修験者らに深く信奉されてきた。明治以降、同寺や住民が守ってきた鈴原不

動尊に登録を報告。参列者や住民の平穏を願う護摩木の炎が赤々と燃え上がった。  
【小田切敏雄】

静岡、噴火、灰で、ら、に、ん、日、最、の、他、界、供、登、山、写、真、の、よ、れ、い、し、て、書、が、ん。